

令和4年度 小中連携研修会（坂元中グループ）研究のまとめ

鹿児島市立坂元小学校

1 小中連携部会のテーマ

児童・生徒の生きる力を育むための指導のあり方
～確かな学力の育成と生活指導の充実を中心にして～

2 研究会の実際

(1) 実施計画

4月27日（水）	3校連絡会
6月10日（金）	各校からの資料提出の締め切り
6月15日（水）	各校へ研修会資料送付
6月20日（月）	小中連携研修会 (共通実践事項・共通理解事項についての話し合い)
7月末	各校で具体的な取組について話し合い、実践する。 担当校は各校の取組をまとめる。
1月末	各校で取組を振り返り、まとめる。 担当校は各校の取組をまとめ、次年度へ引き継ぐ。

(2) 研究の実際

① 研究会実施日時

令和4年6月20日（月）

14:00～16:45

② 研究会の日程

14:00～14:15

受付

14:15～15:00

授業参観

15:00～15:15

【会場校】帰りの会 【参加校】休憩，司会者打ち合わせ

15:15～15:25

移動

15:25～16:20

分科会



部会	分科会	分科会の内容
A 部 会	授業改善	「主体的・対話的で深い学び」の実現のための各校の現状，課題の確認と，課題解決に向けた改善のあり方。
	家庭学習	「家庭学習強調週間」を充実させる具体的な取り組み例と，今後の実施方法。
	GIGAスクール構想	各校の現状と，発達段階に応じて身につけさせたいICTの活用法。
	特別支援教育	進路指導を見据え，スムーズな連携を目指した指導や支援のあり方。
	生活習慣	各校の「生活のしおり」等の確認と，共通実践事項の決定。
	性の多様性の理解に係る指導	現状と，学校で配慮できること。
B 部 会	小6・中1部会	小学校から中学校への進学において，新しい環境での学習や生活へ移行する段階で，不登校等の生徒指導上の諸問題につながっていく事態等を防ぐためにできる，小・中連携のあり方をどうすればよいか。

16:20～16:25

移動

16:25～16:45

全体会

(3) 分科会報告

部会	分科会	共通実践事項及び共通理解事項
A 部 会	授業改善	①学習の流れの明確化 ・・・めあて（青色で囲む）とまとめ（赤色で囲む） ②自己評価（学びの振り返りの確保）
	家庭学習	①家庭学習強調週間の時期を中学校のテスト期間に合わせる。（テスト1週間前から開始） ②3校合同の取組であることを保護者にも伝える。
	G I G A スクール構 想	①基礎的・基本的な力を小学校で身につけ、中学校で生かす。（各学年に応じて基本的なタブレットの操作ができるようにする。）「プレゼンテーション」「プログラミング」
	特別支援教育	①在籍保護者・児童との教育相談をしっかり行い、情報を中学校に提供する。
	生活習慣	①あいさつを進んでする子どもに ②教師が授業のはじめ・終わりの時間を守る。
	性の多様性の理解に 係る指導	①男女混合名簿 ②呼び方（～さん） ③保護者への啓発
B 部 会	小6・中1部会	①姿勢の保持 ②ルールを守ること→次の人のことを考える 思いやりをもった行動

【授業参観】



【分科会】



【全体会】



(4) 各校の具体的取組策と振り返り

【坂元小学校】

A 部 会	分科会	共通理解・実践事項	坂元小の取組	振り返り
	授業改善	①学習の流れの明確化 めあて（青色） まとめ（赤色） ②自己評価 （学びの振り返りの確保）	①実施中。 ②「わがとも」の観点で実施している。	①国・算の授業の流れ、板書、ノートの基本モデルを共通実践した。 ②振り返りの実施は進んでいるが、課題と感じる職員もいる。
	家庭学習	①家庭学習強調週間の時期を中学校のテスト期間に合わせる。（テスト1週間前から開始） ②3校合同の取組であることを保護者にも伝える。	①すでに実施中のメディアコントロール週間と併せて、中学校のテスト期間が含まれる（月～金）で実施。2学期より高学年は宅習帳に取り組み時刻を記録させる予定。 ②2学期より、毎回学級通信に掲載。（内容は係が提案）	①計画通り実施できた。2学期からはタブレットを使った家庭学習を実施し、学習時間を確認しやすくなった。 ②学級PTAやメディアコントロールに関する案内文で啓発を行った。
	G I G A スクール 構想	①基礎的・基本的な力を小学校で身につけ、中学校で生かす。（各学年に応じて基本的なタブレットの操作ができるようにする。） 「プレゼンテーション」 「プログラミング」	①既に取り組んでいる。教育課程に示された計画に基づいて確実な指導を心がける。	（教師）Ipad, ロイロ, ナビマなどの使い方について研修を実施。スキルアップを図った。 （児童）各学年の発達段階に応じてロイロやナビマを授業や宿題で活用させた。
	特別支援 教育	①在籍保護者・児童との教育相談をしっかり行い、情報を中学校に提供する。	①個別の支援計画、指導計画、移行支援シートを活用する。中学校での特別支援学級体験入学、説明会の際、具体的な引継ぎをする。	①個別の教育支援計画と移行支援シートは保護者と協力して作成。中学校への引継ぎを計画的に進めた。
	生活習慣	①あいさつを進んでする子どもに ②教師が授業のはじめ・終わりの時間を守る。	①4月から「先手あいさつ運動」に全校で取組中。 ②「授業の約束」を2学期前に再確認し、2学期から各学級で実施する。	①「先手挨拶運動」継続中 ②始業1分前には着席を促し、授業を始め、授業の終わりの振り返りをして時間通りに終わるよう努めている。
	性の多様 性の理解 に係る指 導	①男女混合名簿 ②呼び方（～さん） ③保護者への啓発	①実施済み。 ②7月の校内人権同和教育研修で確認した。 ③11月の校内人権同和教育研修で講話を計画。その際に、保護者への参加も呼び掛ける予定。	②呼び方は職員で共通理解できている。生徒指導の面からも指導済み。 ③講演会の案内文を配付したことで保護者の意識向上につながられたかと思う。参加希望者も数名いた。
B 部 会	小6・中 1部会	①姿勢の保持 ②ルールを守ること→次の人のことを考える 思いやりをもった行動	①机・椅子の高さ確認。2学期より「ゲーピタピン」を合言葉に姿勢保持を意識させる。 ②児童会の取組と併せてアロハ指導の徹底。	①②個人差は見られるが、全体的にはできている。

【坂元台小学校】

A 部 会	分科会	共通理解・実践事項	坂元台小の取組	振り返り
	授業改善	①学習の流れの明確化 めあて（青色） まとめ（赤色） ②自己評価 （学びの振り返りの確保）	①これまでも実施してきている。本年度も共通理解済みで実施できている。 ②早速、取り組んだ学級もある。振り返り観点を検討中。2学期から開始したい。	① 継続して実践中 ② 振り返りの合言葉を「さかだい」で作成して実施している。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> さ…さあできた！ か…かんだうした！ だ…だれかさん、すごい！ い…いいね、それ！ </div>
	家庭学習	①家庭学習強調週間の時期を中学校のテスト期間に合わせる。（テスト1週間前から開始） ②3校合同の取組であることを保護者にも伝える。	①カード利用することで啓発と活用はできている。 ②提出された記録を学級通信やPTAなどでも紹介し、保護者への啓発を実施している。3校合同での取組であることは、2学期実施の際に周知したい。	①実施期間前にカードを配布し、周知・啓発・実践できている。 ②提出された記録の活用はできた。（実態把握できたことで、気になる子供たちへの声掛け等ができた。）
	G I G A ス ク ー ル 構 想	①基礎的・基本的な力を小学校で身につけ、中学校で生かす。（各学年に応じて基本的なタブレットの操作ができるようにする。） 「プレゼンテーション」 「プログラミング」	①簡単な内容であるが、教育課程に提示済み。研修会で見ていただいた坂元小学校の資料を参考に、今の計画よりも詳細なものが作っていけるとよい。	①全体研修の機会がなかなか組めなかったが、学年間での研修や出前授業（3・5年）を生かした取り組みができた。一人一授業の相互参観でいろいろな先生方の活用法を知った。児童が利用しやすいアプリの活用ができた。
	特別支援 教育	①在籍保護者・児童との教育相談をしっかりと行い、情報を中学校に提供する。	①毎年のふれあい相談で、保護者の意見を聞いて確実に記録に残していけるようにする。入学時にはそれまでの年度ごとの意向を伝えられるようにしていく。	①中学校への入学を見据えて、保護者との連携もしっかり行ってきた。移行支援シートも作成し、円滑な引継ぎができるようにしている。
	生活習慣	①あいさつを進んでする子どもに ②教師が授業のはじめ・終わりの時間を守る。	①児童の委員会活動と絡めて、推進していくようにする。 ②45分完結授業を目指す。 取組時期：年度当初から。（担任は常時教室に待機している状態であるため。）	①児童の委員会活動と絡めて、推進する。 ②授業の2分前着席への意識が高まってきた。呼びかけなくても、子ども側から進んで着席・準備している。
	性の多様 性の理解 に係る指 導	①男女混合名簿 ②呼び方（～さん） ③保護者への啓発	②さん付けの呼び方については、共通理解した上で実施していく。 ③人権同和教育に絡めて進めていく。まずは啓発資料の配布から・・・	①男女混合が普通になってきた。整列も同様。 ②十分とは言えない。 ③特別な啓発はできたとはいえなかったが、理解する雰囲気はできてきている。
B 部 会	小6・中 1部会	①姿勢の保持 ②ルールを守ること→次の人のことを考える思いやりをもった行動	①「坂台の子」授業の受け方五つの約束を再確認する。学期はじめに実施する。 ②言葉遣い…「ぼかぼか言葉を使おう」	①約束事を意識できている児童が多い。 ②気になるときには、言葉遣いを考えさせた。友達同士の呼び捨てや目上の人への丁寧な言葉遣いなど、課題は残る。学年で気を付けるように取り組んでいる。

【坂元中学校】

A 部 会	分科会	共通理解・実践事項	坂元中の取組	振り返り
	授業改善	①学習の流れの明確化 めあて（青色） まとめ（赤色） ②自己評価 （学びの振り返りの確保）	①2学期から（準備を夏休みに行う。） ②授業の中で振り返りをする。2学期から	①実践しているが、色は徹底できていない。色については今後、検討が必要である。 ②概ねできている。
	家庭学習	①家庭学習強調週間の時期を中学校のテスト期間に合わせる。（テスト1週間前から開始） ②3校合同の取組であることを保護者にも伝える。	①各テスト1週間前から実施。 ②部活動停止、生活の記録での確認。	①生活の記録のテスト学習計画表に計画を記入し取り組ませた。個人評価や内容によって声掛けをしたことで意識して取り組むようになった。 ②学級通信やPTA等で保護者に協力を求めて取り組めた。
	G I G A スクール 構想	①基礎的・基本的な力を小学校で身につけ、中学校で生かす。（各学年に応じて基本的なタブレットの操作ができるようにする。） 「プレゼンテーション」 「プログラミング」	①県総合教育センターの情報活用能力一覧表の資料を基に、情報活用能力の育成に努める。技術家庭科を中心に、各教科でロイロノートや映像資料等の活用を努める。	①各教科や道徳、学活での活用に努力している。特に技家では情報の技術において、Webページ作成の基礎学習やスクラッチ等を活用したプログラミング学習を実施した。1年生ではロイロノートを活用しての木材加工のまとめと学習班ごとの発表、映像を活用しての学習内容の進化に生かしている。
	特別支援教育	①在籍保護者・児童との教育相談をしっかりと行い、情報を中学校に提供する。	①移行支援シートを活用した引き継ぎを丁寧に行う。	①移行支援シートを引き継ぎ、活用することができた。
	生活習慣	①あいさつを進んでする子どもに ②教師が授業のはじめ・終わりの時間を守る。	①登下校指導の際の声かけ挨拶や生徒会と連動し、朝の挨拶運動活性化を図る。 ②教師間での声かけや生活部での生徒への声かけ、授業終了の意識向上を図る。	①生徒会とも連携し、あいさつは積極的にできるようになった。門礼も伝統的に引き継がれている。 ②できている。引き続き取り組んでいきたい。
	性の多様性の理解に係る指導	①男女混合名簿 ②呼び方（～さん） ③保護者への啓発	①②年度当初に共通理解している。 ③PTA等を含め適宜行う。	①活用できている。 ②概ねできている。 ③概ねできているが、個別に理解が必要な場合もある。
B 部 会	小6・中1部会	①姿勢の保持 ②ルールを守ること→次の人のことを考える思いやりをもった行動	①年間を通して挨拶・返事・姿勢の保持は学年の共通理解・実践事項として、生徒へ伝達、指導を全職員で継続して行う。学期末に資料もしくは学級・学年の掲示物を準備する。3月小中引き継ぎの連絡会資料の児童の情報に関する項目を検討する。 ②道徳、学活、教科等での個別・全体指導を行う。2学期以降にソーシャルスキルトレーニングを実施する。（夏季休業中に準備）	①姿勢の保持は学年目標の一つとして年間を通じて意識し、伝達、指導が行えた。資料の掲示も行えた。小中引き継ぎの連絡会資料は見直しを行い、より有効に活用できるよう修正を加えた。 ②適宜、指導を行い、PTAなどでも保護者との共有も図れた。ソーシャルスキルトレーニングは実施できなかった。次年度に計画している。

